

はーるよこい!はーやくこい!

節分・立春・平昌オリンピック・バレンタインデー・・・厳しい寒さのなか、楽しい行事や話題に春を感じるこの頃ですが、いかがお過ごしでしょうか。
宇土市民会館では2月3月は年度末とあって、保育園・幼稚園やピアノ教室などの発表会がいくつも行われます。子ども達1年間の成長ぶりに驚かされる季節でもあります。春のイベント・自主文化事業に出かけてみませんか?

3月の催し

- 4日(日) 13時30分開演 「宇土太鼓祭」 大ホール
宇土太鼓祭実行委員会 大人2000円・大学生以下1000円・ペア3000円 (当日各500円増)
- 10日(土) 13時30分開演 温知館講座「世界遺産三角西港と宇土」 大会議室
(一社)熊本県青年塾 無料
- 18日(日) 13時30分開演 「第2回春の音楽の祭典」 大ホール
NPO法人宇土の文化を考える市民の会 大人1000円・高校生以下500円(当日各200円増)
- 21日(水・祝) 19時開演 「馬場真梨子・馬場萌子ピアノコンサート」 大会議室
実行委員会mimi 1000円 (当日200円増)
- 25日(日) 10時開演 「熊本邦舞協会熊本地震チャリティ公演」 大ホール
熊本邦舞協会 無料
- 28日(水) 15時開演 まんが映画会 大ホール
MI企画 900円

(2月19日現在の予定です。変更になる場合があります。)

第2回

春の音楽の祭典

テーマ
「和とWAと輪」
音楽が日本と世界(World)を結び
心がつながって、いっしょに楽しもう!

フラメンコ、華、ピアノ、
世界で唯一異色のコラボ!
スペイン公演を大成功させ
凱旋公演!

TRINITY

TRINITY (トリニティ)

フラメンコの林田紗綾・新華奏者の藤川いづみ・作曲家でピアニストの志原慶香が創造する、異文化の出会いと融合のステージ。17年スペイン・グラナダで開催されたグラナダ・フェスティバルに招聘され、フラメンコミュージシャンたちと競演し好評を博しました。ジャンルを超えた感動をお届けします。

国を超え、
ジャンルを超え、
表現は、自由になる。

日時 2018年3月18日(日) | 開場 13:00 | 開演 13:30

宇土市民会館大ホール (全席自由) 前売券 一般 1000円
高校生以下 500円 (当日各200円増)

第1部 宇土・宇城の合唱団・吹奏楽団による演奏会 司会 橋本絵麗子

第2部 ゲストタイム TRINITY (トリニティ)
藤川いづみ(華)、志原慶香(ピアノ)、林田紗綾(フラメンコ)

(出演団体) 合唱団「カリエーピング」、宇城遠声合唱団、コール宝、熊本アカデミー合唱団、鶴城中学校合唱部、宇土市児童合唱団、宇土市民吹奏楽団

Festival of spring music

プレイガイド: 熊日プレイガイド・宇土シティモール・カメヤ本店・宇土市民会館・ローソンチケット (Lコード: 82150)
主催: NPO法人宇土の文化を考える市民の会 共催: 宇土市、宇土市教育委員会 後援: 熊本日日新聞社・RKK・TKU・KKT・KAB・FMK・FM791

NPO法人 宇土の文化を考える市民の会 宇土市民会館 HP <http://www.utobunka.jp>

事務局 ☎869-0433 宇土市新小路町123 宇土市民会館内 TEL 0964-22-0188 FAX 0964-22-0189

■年会費納入のおお願い 平成29年度の年会費納入ありがとうございます。未納の方は、郵便局で振込まれるか、市民会館窓口(9:00~22:00)でのお支払いをよろしくお願いいたします。※休館日: 火曜日(祝日の場合は翌平日)

国指定重要有形民俗文化財指定記念

宇土太鼓祭 つなぐ



2018
3.4 sun

開場 13:00 開演 13:30 (休館日4日中止)
宇土市民会館 大ホール

宇土の宝を世界の宝へ

宇土太鼓祭は、宇土が全国に誇る大太鼓文化の継承・再創造の祭として今年6回目の開催を迎えます。運営は宇土天響太鼓、宇土高校和太鼓部「鼓」、太鼓芸能集団「袖衣」を中心とした若手による実行委員会(メンバー60名平均年齢20歳)で組織し、宇土太鼓の幅広い世代への周知・アピールをおこなっています。太鼓祭の企画として、様々な楽曲を創作し、その成果として平成28年8月には袖衣が英国エディンバラフェスティバルにおいて最高評価【5つ星】を獲得。

また、平成30年1月には選抜メンバー UTO15 がベトナム

ジャパンフェスティバルへ参加し、大成功を収めました。宇土の太鼓文化を確実に海外へ発信しています。

太鼓祭を通じてめざすことは、宇土の太鼓文化の未来を育てるためのつながりを作ることです。

太鼓祭への参加をきっかけに次の世代の若者が宇土太鼓の歴史や文化についての理解を深める機会を作ると共に、稍古から本音にかけた出会い・交流の機会を通じて意識の高まり・盛り上がりを図り、太鼓祭以降も世代・団体間を超えた繋がりが継続していくような姿を目指します。

テーマは「つなぐ」

国指定重要有形民俗文化財に指定された雨乞い大太鼓。宇土の宝が日本の宝として認められた今、本来の「雨乞い」とは何だったのか、その根源をもういちど考える。

これからの100年のために、宇土だから出来る祭を作りたい。企画演出 高田大介

事業報告



昨年11月26日、世界的ジャズピアニスト佐藤允彦率いるトリオとヴォーカル上杉亜希子氏を招いてのコンサートと、九州各県から募集したジャズプレイヤーとトリオとのセッションをおこないました。前日の25日には、毎年恒例となっている前夜祭も大会議室で開催し、大いに盛り上がりました。第8回目を迎え、超一流のトリオとの共演を通して、ジャズプレイヤーのレベルの向上とジャズの普及につながっています。

宇土映画祭2017

昨年12月10日、菊池映画祭の運営を手がけた TeamPshot と共催事業として開催。第一回目となる今回は、テーマを「復興」と銘打ち、宇土市で被災された仮設住宅全世帯を招待しました。



上映作品として熊本地震直前に撮影された「うつくしいひと」や続編「うつくしいひとサバ?」、新進気鋭の外山文治監督作品「燦爛」「わさび」「春なれや」三作品を上映。また外山監督と、宇土出身の女優 田川可奈美さん（「燦爛」に出演）によるトークショーも開催。トークショーでは田川さんのご親戚の方々も多く来場され、会場は地元ならではのアットホームな雰囲気になりました。

地域伝統芸能祭

小泉八雲が感じた熊本の伝統



2月4日 地域に根付く伝統・伝承芸能を後世に保存、継承する祭典として今年が第二回目の開催となりました。清和文楽「雪おんな」・宮庄地区雨乞い大太鼓保存会・宇土御獅子舞保存会・中江岩戸神楽保存会が芸能を披露しました。会場は大会議室と大ホールの2カ所で時間をずらして開催し、大会議室の清和文楽では人形の表情が変化するように驚きの声が上がっていました。大ホールでは迫力ある芸能に見入っていました。次年度以降も、伝承・伝統芸能が持つ魅力を発信すると共に、廃れかけている芸能にも光をあて、保存会活動を継続・再開できるようなサポートも含めて事業を実施していきます。

NPO 法人宇土の文化を考える市民の会 クリスマスサロンコンサート ～心温まるクリスマスソング～



昨年12月23日、大会議室にて会員優待のサロンコンサートを開催しました。フォークデュオのワルツ（リチコ&テツ）をゲストに、クリスマスソングや、懐かしいヒット曲など誰もが楽しめる選曲で心とむひと時を味わいました。またリポーターさん持ち寄りの飾りでクリスマスらしさ漂う会場になりました。恒例のティータイムとお花の抽選会も和気あいあい。ワルツさんも宇土市民会館の大会議室の音の良さをとても気に入られ、2月11日に独自でコンサートを開かれました。

劇団風の子九州「あそび箱」

NPO 法人宇土の文化を考える市民の会プレゼント事業



NPO 法人宇土の文化を考える市民の会のプレゼント事業として、子ども向けの公演を3年前から開催しています。1月28日大会議室で行われた今回の「あそび箱」は、マジックのような楽しい展開で、様々な箱から音楽・物語が次々と現れ、子どもも大人も惹き付けられた50分間となりました。3人の手指を使った遊びや6つの手を合わせて作る何人もの顔など、発想の楽しさ、想像力を高める内容は柔軟な心を育むひと時になったのではないのでしょうか。市内回覧の他、幼稚園～小学3年生全員に、また保育園にもチラシを配布しました。

3月18日(日)「第2回春の音楽の祭典」を開催します。今年のテーマは「和とWAと輪」。外国の文化もアレンジして取り入れてきた日本。そしてより素晴らしいものへと昇華させていく技術…。今年の見どころ(聴きどころ)は宇土・宇城の合唱団・吹奏楽団による日本と世界をつなげていく素敵な選曲の数々。また、なかなか見ることのないフラメンコ、しかも和楽器の箏とピアノという取り合わせの異色のゲスト「トリニティ」の本場スペイン人をも感動させた舞台。どうぞお楽しみに!!

第1部 宇土・宇城の合唱団・吹奏楽団による演奏会

テーマ「和とWAと輪」～日本と世界(world)が、つながりますように～



- 宇土市児童合唱団
 - コール宝 & 鶴城中学校合唱部
 - 合唱団「カリービンガ」
 - 熊本アカデミー合唱団
 - 宇城混声合唱団
 - 宇土市民吹奏楽団
- ♪「ドレミのうた」
 - ♪「きずな～熊本に寄せて～」
 - ♪「ふるさとは今もかわらず」
 - ♪「明日は晴レカナ曇リカナ」
 - ♪「アムール河の波」
 - ♪「八木節」

他予定(順不同)



司会 橋本絵理子
テレビ熊本アナウンサーとして勤務したのちフリーのアナウンサー業を継続。FM熊本では、「朗読～声の贈り物」を10年以上続けている。コンサート、イベント司会等。

第2部 スペシャルライブ：TRINITY (トリニティ)

'09年に結成し、翌年「地域文化芸術創造事業～人づくり基金コンサートVol.1～TRINITY」初公演では1,600名のホールを満員にし、音楽評論やフラメンコ専門誌などにも取り上げられ高い評価を得ました。



林田 紗綾

熊本出身、幼少の頃よりクラシックバレエをはじめ、後にフラメンコを始める。2000年渡西、マノロ・マリノ、ファナ・アマジャ、ジョランダ・エレディア、マリア・アンヘレス・ガバルドン等数々のアーティストに師事。2003年帰国後、フラメンコスタジオ「Estudio Alegrias」(エストゥディオ・アレグリアス)を開設。オペラ「カルメン」の振付・出演や熊本市立小中学校のスクールコンサート、舞台活動など積極的に行う。2006年、「熊本市制100周年記念人づくり基金」の援助を受け渡西。熊本県文化懇話会会員。2010年、第19回新人公演(日本フラメンコ協会主催)バイレ ソロ 部門奨励賞受賞。2011年、第46回熊本県文化懇話会賞・新人賞受賞。



藤川 いずみ

箏のソリストとして、フラメンコをはじめオーケストラ、オペラ、歌曲、バロック、コンテンポラリーダンス、語り座、地唄舞、座敷唄など多様なコラボレーションを展開し、21絃(新箏)を中心に箏の可能性を追求している。東京では邦楽創造集団「オーラ」J団員、オーケストラアジア、アジアアンサンブルにも参加。オペラ団体「東京室内歌劇場」では文化庁巡回公演やオペラアリアコンサートで新箏ソリストを担当。2014年「日韓伝統音楽オーケストラ」結成、ソリストを務める。アジア、西欧・オーストラリアなど海外招聘演奏多数。気鋭の作曲家と共に箏による優れた作品を創造する活動を行う。CD志願産音作品集「サンクチュアリ」「三木敏子作品集1」「藤川いずみ箏による新作初演1」、第5回万里の長城杯国際音楽コンクール第一位、第26回信友社賞受賞ほか。



志媛 慶香 (しがけいこ)

熊本出身の作曲家・ピアニスト。2008年米国パークレー音楽院 映画音楽作曲科を首席卒業。音楽を担当した映画は国際的な評価を得ており、2012年「NOT LONG, AT NIGHT 夜はながくない」は東京国際映画祭ノミネート、2015年「マジックユートピア」はヒューストン国際映画祭審査員特別賞、2016年「冬の蝶」はテヘラン国際短編映画祭アジア部門グランプリ、モンテカティーニ国際短編映画祭特別賞を受賞。熊本の文化情報誌ドコサ?に映画音楽の魅力を綴るエッセイや、西日本新聞に新作映画評を掲載中。FMK「朗読～声の贈り物」やKKT「現場発!」OP曲ほか、2017年10月より全国放送TVアニメ「宝石の国」第8話エンディングを担当。2016年よりフィンランドで音楽を通じた国際交流をしている。